

認知症の診断を受けた父 計算が出来るまで改善した体 験

日本ホメオパシーセンター旭川永山

JPHMA認定ホメオパス NO.818

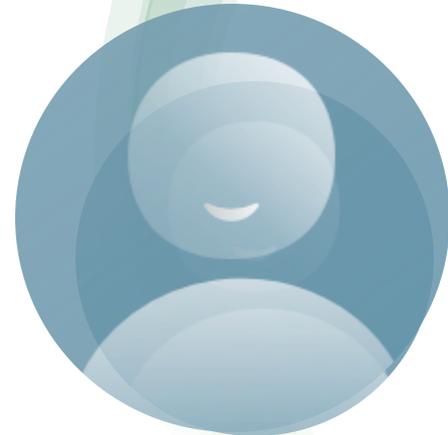
安藤 玲(あんどうあき)



【はじめに】

私の父のケースになります。そして家族はその時、絶体絶命のような状況をどの様に乗り越えたかという事も一緒にお伝えしたいと思います。

家族が認知症の診断を受ける時、様々な予期せぬ行動や状況が発生します。





【ある日を境に】

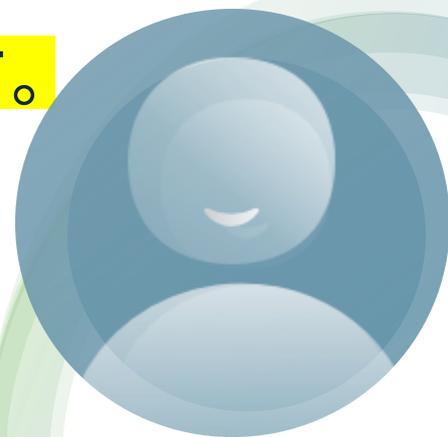
長谷川式認知症

スケールの中にある

「 $100-7=93$ 」

「 $93-7=86$ 」・・・と出た
答えから7を引くを暗算
での引き算が出来なくな
りました。

父は、「どこから何を
繰り下がるのか分からない。」と言います。



【その時父は】

「俺の頭は壊れたようだ！！」

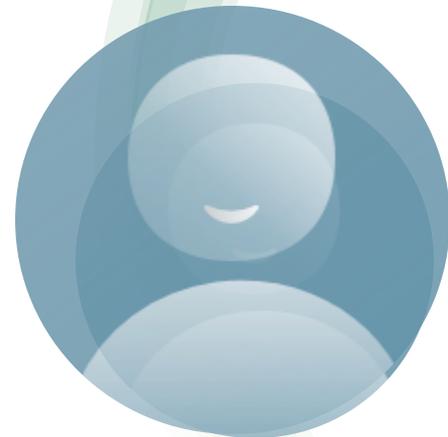
簡単な引き算は出来ても

認知症のスケールを図る計算になった途端
引き算の方法を何度教えても分からない。



クライアント 78歳 男性

主訴 ①脳血管性認知症
②アルツハイマー型認知症
③左視床部脳出血後遺症



【症状や状況】

- ①長谷川式は100から7を引く繰り返しの計算。長谷川式の暗算でどこから何を引くのかが理解できず計算が出来ない。
- ②認知症の初期症状にある怒りっぽくなる。怒っている時の記憶がない。
- ③携帯から電話をかける動作が出来なくなる。教えても分からない。



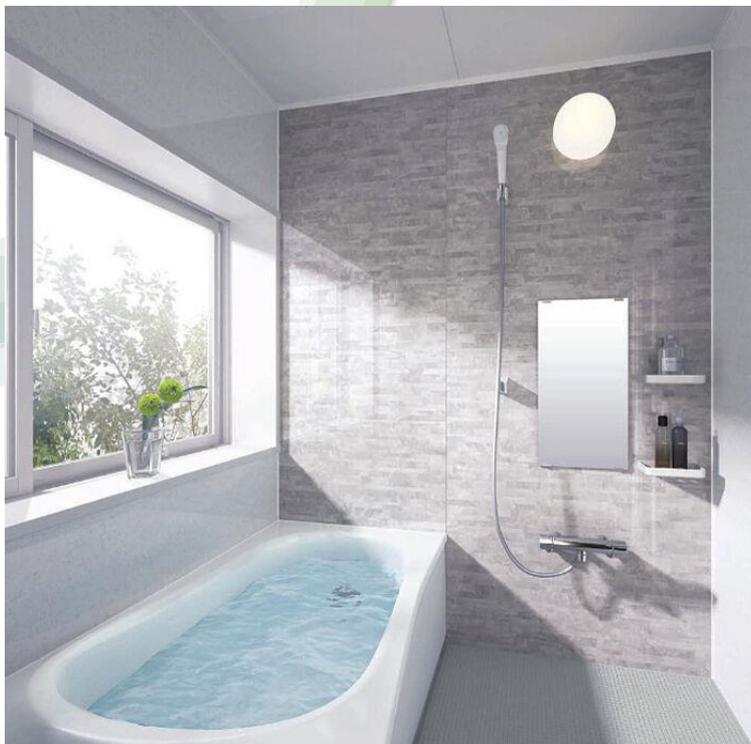


【こんな事が起きました】 大変です

2023年入居施設から

突然の退去勧告





【怒り爆発】

父は
入浴介助してもらおう時に
介護士と上手くかず**浴槽**
へ落ちそうになりました。

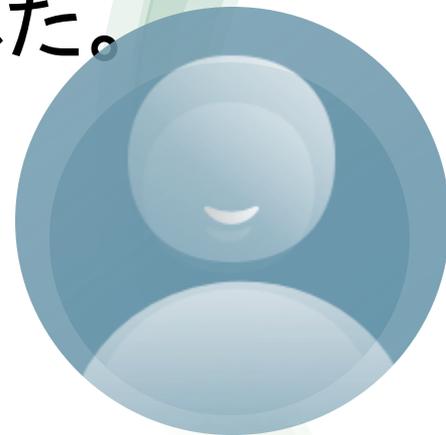
右側が感覚の無い麻痺
の父にとっては、物凄い
恐怖だったので**怒り**
ました。





【でもこんなことも…】
次から次へと出る話。
排尿のコール回数が多いのがダメだという話。

そして
なぜか父のせいで
施設職員がみんな辞め
ると言われました。

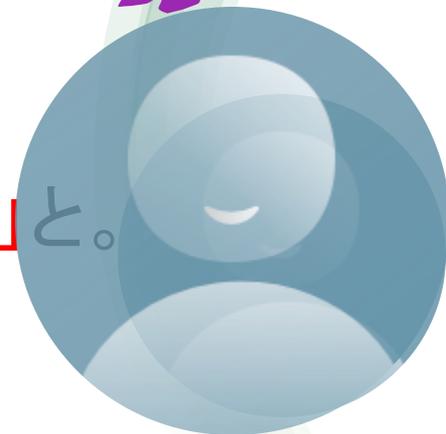


複雑な状況が絡まる

施設は職員が辞めるため
常に人で不足で困っている状況。

施設側の言い分
「父のせいで職員が辞める」
と言う

でも
施設内部の職員が話してくれました。
「父のせいで職員は辞めていないと
そして辞める理由は社長がいびるからだ」と。



施設側との話は上手いかず

ついには
施設側
地域包括支援センター
担当ケアマネージャー
安藤家
の4者での話し合いが始まりました。

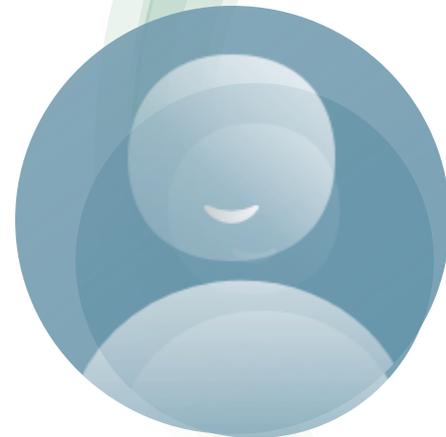


施設側との話は

食い違う言い分と話し。

話し合いが続いても施設との関係性はこじれるばかりでした。

退去の期日だけが一方的に決まり
絶体絶命です。



2023～2024年
退去先の施設の空きがなくて予約待ちの
状態。退去できない私達家族に早く退去
しろと言わんばかりの
嫌がらせが開始。

今の施設から
逃げられない
私たち家族。



四面楚歌の状況へ

担当ケアマネジャーからケンカ腰での暴言が始まる

私と母は、自宅で面倒を見ることが出来ない状況にも関わらず、「**自宅で見るとしかない**」など脅しのような発言に…



一家心中を考えるほど追い詰められました。

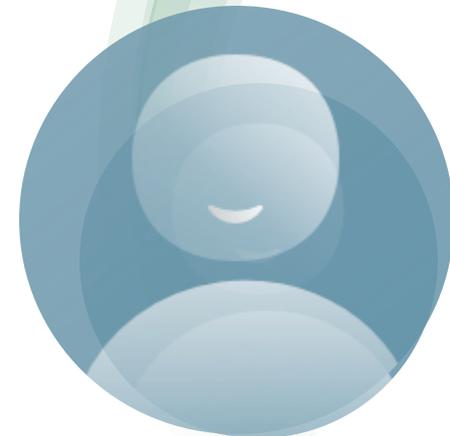


【父はこんな様子】

父に精神的な嫌がらせが始まりました。

→麻痺をしているので上手く履けない靴を「早く履け」と職員が言います。

この時期から
明らかに目がうつろになり、精神が崩壊し始め、話していることも理解できない事が増えました。



【嫌がらせの飛び火】

そして

施設から私と母にも嫌がらせが始まりました。

私も母も屈辱感が凄かった。

誰も味方じゃない。

そんな時に助けられたのは

液) サポート魂の目覚め



このような出来事が起きるのは何か意味があるかもしれない。

過去世の問題なのかもしれない。
私たちの何か解決しなければいけないこともあるかもしれない……



【状況が更に悪化】

不安や恐れで
常にストレスフル

→ 認知症の悪化要因

2024年3月～6月

行く先がないのに無理やり施設から退去させられる事態へ。

偶然見つかる

ショートステイ先が見つかり、1か月間だけ居られる事になりました。

新しい施設が見つかり入居できる。



【その時父は】

「俺の頭は壊れたようだ！！」

簡単な引き算は出来ても



認知症のスケールを図る計算になった途端
引き算の方法を何度教えても分からない。

携帯から電話をかける方法が分からなくなる。

認知症の初期症状の怒っている記憶がない
が怒っているという現象。

施設が見つかるかどうか不安で常にストレスに
されされる状態も認知症を悪化させる要因にな
る。

2024年6月 **認知症の診断**を受ける。



【改善したきっかけ】

2024年5月～2025年5月

液) サポート甲状腺低下を選んだ理由

甲状腺機能低下と認知症の記憶力の低下の症状に似ている事。そして、「言いたい事が言えない心の詰まり」も甲状腺機能に負担をかけたと考えた。

食事では

甲状腺を活性化するためのヨウ素が施設での食事では不足→昆布を煮出した汁を週3回とってもらう。

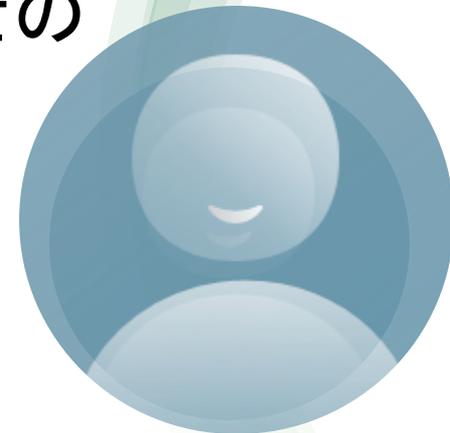


TBRのマテリアメディカ検索 (全て液体で使用)

- ① Kali-ar. (砒酸カリウム) 12X・・・認知症の症状に。
→このレメディーも大きく作用
- ② Carb-v. (植物炭) LM・・・無意識化の怒りに。
→無意識に怒り出すこともほぼなくなった。
- ③ OP. (阿片) LM・・・理性の混乱や恐怖、譫妄に。

他に

- ① Acon. (ヨウシュトリカブト) 6C・・・施設を追い出されたショックに。
- ② Phos. (燐) LM・・・脳のシナプス同士の連携を良くするために。
- ③ His. (塩酸化ヒスタミン) 30C・・・神経細胞同士の情報のやり取りに。



【改善のポイントと考察】

父へ伝え、父も黙って聞いていました。



施設を追い出されるような理不尽な目に遭ったのは過去世のカルマの解消もあること。

また、今までの父の誤解されるような破壊的な行動も改めていくことも必要だと話した。

父なりに心を見つめ、癒すことを出来る範囲で続けてくれ、今は穏やかに生活をしている。



父の認知症の症状は、

繰り返し甲状腺機能をサポートすることで
携帯電話の使い方が分からなくなる事もなくなりました。

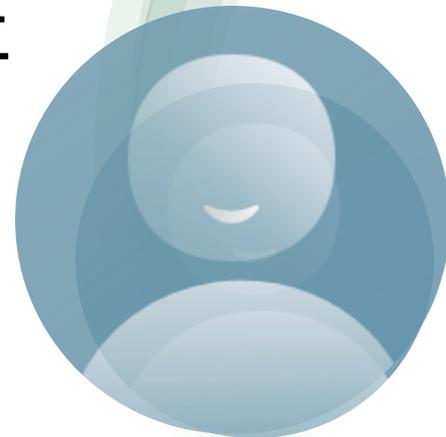
また、認知症検査で行われる長谷川式の計算
が出来るまでに回復。



父自身が取り組んだこと

- ①認知機能は運動機能とも関係→車椅子でなるべく手足を動かす運動をする。
- ②記憶の引き出しの活性化→言葉の並べ替えクイズ。またナンプレなどを行い、頭の活性化を図っていた。

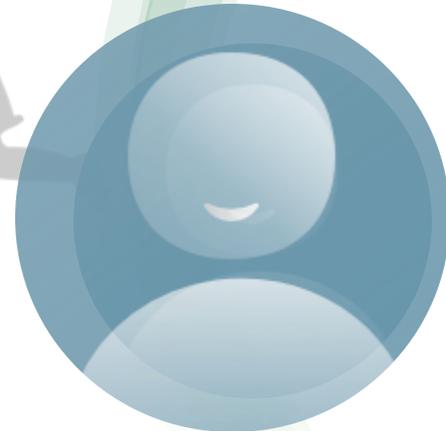
新しい施設では何よりも嫌がらせに合わない事で心が穏やかになり、認知機能が安定したこともプラスに働いた。



【心が潰れなかったのは】

今回のような四面楚歌で誰も味方ではない時、家族も精神的負担が大きく気が狂いそうな時もありました。そんな時、液)サポート魂の目覚めが心の支えになりました。

状況の打開のために新しいケアマネジャーと契約。その後、何事もなかったかのように上手く進むようになり、人との出会いの大切さも知りました。



認知症の家族がいる事は、
「もうどうにもならない」と思う程の**苦難**が起こる
ことも多いです。

それでも、
ホメオパシーのお陰で本人も家族も乗り越えら
れていると実感しています。長寿だからこそ
ホメオパシーのケアが有効であると思います。

認知症の本人もその家族も心身のストレスを
ケア出来ることが魅力です。



【認知症の症状への

レメディーやサポートチンクチャー】

認知症に良かったものを紹介させて頂きたいと思います。

- ①液) サポート免疫スーパーグレート・・・施設内のシェディングによる記憶力思考力の低下に。
- ②Kali-c.(炭酸カリウム)・・・記憶力不足。
- ③Agar.(ベニテンゲダケ)・・・頭に霧がかかったよう。忘れっぽい。



最後まで御覧頂きありがとうございます。

高齢化が進む時
自分らしく最後まで生きられ
魂を輝かせられるのはホメオパシーの
魅力だと思います。

